



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 サンコール株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5985 URL <https://www.suncall.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大谷 忠雄  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 (氏名) 金田 雅年  
管理本部長(兼)企画・管理部門長 TEL 075-881-5280  
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月8日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	25,169	6.1	1,406		834		681	
2023年3月期第2四半期	26,813	14.1	471	1.1	882	35.6	572	25.7

(注)包括利益 2024年3月期第2四半期 1,230百万円 (30.5%) 2023年3月期第2四半期 1,770百万円 (147.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	22.66	
2023年3月期第2四半期	19.05	19.01

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	65,912		39,014		59.2	1,295.67
2023年3月期	63,735		38,038		59.7	1,264.63

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 38,996百万円 2023年3月期 38,020百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		11.00		9.00	20.00
2024年3月期		10.00			
2024年3月期(予想)				10.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	2.6	2,600		2,100		1,600		53.18

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2023年11月10日)公表いたしました「2024年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	34,057,923 株	2023年3月期	34,057,923 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	3,960,512 株	2023年3月期	3,993,335 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	30,079,831 株	2023年3月期2Q	30,032,778 株

(注)自己株式数には業績連動型株式報酬制度に係る信託口に残存する当社株式が含まれております。  
(自己株式数 2024年3月期2Q 309,350株 2023年3月期2Q 342,210株)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P5「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
3. 海外売上高 .....	12

※当社は、11月に投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限が緩和され社会・経済活動が正常化に進む一方で、ロシアのウクライナ侵攻長期化によるエネルギー・食料価格の高騰や、各国の金融引き締めにより景気後退懸念が継続し、先行きは不透明な状況が続いております。

また、わが国経済においては社会経済活動の正常化が進みつつある中、非製造業で改善が見られるものの、製造業においては不安定な為替相場・原材料価格の高騰・エネルギー価格高騰が継続しており、収益の下押し要因となっております。

当社グループの主な事業領域である自動車分野は、半導体不足等供給制約も緩和し始めており、自動車生産も回復傾向にあります。

また、電子情報通信分野では、デジタル社会進展によりデータセンター向け投資に旺盛な需要が続いておりますが、2022年9月以降各国の金融引き締めや地政学的リスクによる景気後退の懸念が強まり、データセンター向け投資抑制の影響が継続しております。

当社グループの業績もこのような外部環境の影響を強く受け、売上高は251億69百万円（前年同四半期比6.1%減）となりました。

利益面では、HDD用サスペンションでの売上高減少影響に加え、新機種増産準備にかかる費用の増加及び訴訟対応に関して有効な防御策を講じるための弁護士費用・その他の費用などの影響により営業損失は14億6百万円（前年同四半期は4億71百万円の営業利益）、為替差益の発生や受取配当金により経常損失は8億34百万円（前年同四半期は8億82百万円の経常利益）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は6億81百万円（前年同四半期は5億72百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

#### 《セグメントの業績》

##### [日本]

電子情報通信分野でHDD用サスペンションの需要減少の影響から、セグメント売上高は165億46百万円（前年同四半期比11.4%減）となりました。利益面ではHDD用サスペンションでの売上高減少影響に加え、新機種増産準備にかかる費用の増加及び訴訟対応に要する弁護士費用・その他の費用などの影響により、セグメント損失は13億2百万円（前年同四半期は5億円のセグメント利益）となりました。

##### [北米]

米国子会社の自動車関連製品での増加及び円安により、セグメント売上高は42億21百万円（前年同四半期比12.4%増）となりました。利益面ではセグメント損失は2億75百万円（前年同四半期は2億33百万円のセグメント損失）となりました。

##### [アジア]

プリンター関連及び通信関連での販売減少により、セグメント売上高は52億32百万円（前年同四半期比3.4%減）、セグメント利益は6億4百万円（同10.3%減）となりました。

## 《製品区分別の売上業績》

製品区分の名称	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間		増 減	
	自 2022年4月1日 至 2022年9月30日		自 2023年4月1日 至 2023年9月30日			
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
材料関連製品	3,506	13.1	3,876	15.4	370	10.6
自動車関連製品	12,547	46.8	14,677	58.3	2,129	17.0
自動車分野	16,053	59.9	18,553	73.7	2,500	15.6
HDD用サスペンション	7,808	29.1	3,986	15.8	△3,822	△49.0
プリンター関連	1,852	6.9	1,703	6.8	△148	△8.0
通信関連	760	2.8	676	2.7	△83	△11.0
電子情報通信分野	10,421	38.8	6,366	25.3	△4,054	△38.9
その他製品	338	1.3	248	1.0	△89	△26.5
合 計	26,813	100.0	25,169	100.0	△1,644	△6.1

## (自動車分野)

## [材料関連製品]

材料関連製品は、自動車生産も回復傾向にあり、前年同四半期から増加しました。その結果、売上高は38億7600万円（前年同四半期比10.6%増）となりました。

## [自動車関連製品]

自動車関連製品は、自動車生産が回復傾向であることに加え、バスパー等電動化関連やLED関連製品等一部の製品で大きく増加したことにより、前年同四半期から増加しました。その結果、売上高は146億7700万円（前年同四半期比17.0%増）となりました。

## (電子情報通信分野)

## [HDD用サスペンション]

HDD用サスペンションは2022年9月以降各国の金融引き締めや地政学的リスクによる景気後退の懸念が強まり、データセンター向け投資抑制の影響が発生しております。結果、売上高は39億8600万円（前年同四半期比49.0%減）となりました。

## [プリンター関連]

プリンター関連は需要が減少傾向にあり、売上高は17億3000万円（前年同四半期比8.0%減）となりました。

## [通信関連]

通信関連は、景気後退懸念によるデータセンター投資抑制の影響から減少となり、売上高は6億7600万円（前年同四半期比11.0%減）となりました。

## (その他製品)

その他製品は、売上高は2億4800万円（前年同四半期比26.5%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産・負債・純資産の状況

## [資産]

総資産は659億12百万円（前連結会計年度末比21億76百万円増）となりました。これは主に、現金及び預金が5億26百万円、消費税の還付等により流動資産のその他に含まれる未収入金が5億94百万円減少した一方、株価の上昇などにより投資有価証券が13億11百万円、受取手形、売掛金及び契約資産などの売上債権が7億11百万円、HD D用サスペンションの能増投資等により有形固定資産が6億56百万円、棚卸資産が4億98百万円増加したことによります。

## [負債]

負債は268億97百万円（前連結会計年度末比12億円増）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金などの仕入債務が3億7百万円、設備投資に係る未払金の支払い等により流動負債のその他が1億68百万円減少した一方、短期借入金及び長期借入金が16億62百万円増加したことによります。

## [純資産]

純資産は390億14百万円（前連結会計年度末比9億75百万円増）となりました。これは主に、利益剰余金が配当により2億73百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失により6億81百万円減少した一方、株価の上昇などによりその他有価証券評価差額金が8億70百万円、為替変動により為替換算調整勘定が10億58百万円増加したことによります。

## ②当期キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5億63百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には71億44百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

## [営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動によるキャッシュ・フローは、8億69百万円の収入（前年同四半期比13億44百万円の収入減）となりました。増加要因としては、主に減価償却費（20億28百万円）のほか、棚卸資産の減少額（1億6百万円）があり、減少要因としては、税金等調整前四半期純損失（8億51百万円）、仕入債務の減少額（4億63百万円）などがあつたことによります。

## [投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動によるキャッシュ・フローは、26億17百万円の支出（前年同四半期比5億58百万円の支出減）となりました。これは主に固定資産の取得による支出（25億37百万円）があつたことによります。

## [財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動によるキャッシュ・フローは、9億32百万円の収入（前年同四半期比12億3百万円の収入増）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出（3億43百万円）及び配当金の支払額（2億73百万円）があつたものの、外部借入れによる収入（16億43百万円）があつたことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、通期で売上高520億円（前連結会計年度比2.6%減）、営業損失26億円（前連結会計年度は3億4千万円の営業利益）、経常損失21億円（前連結会計年度は8億48百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する当期純損失は16億円（前連結会計年度は5億57百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）を見込んでおります。

連結業績予想の修正につきましては、本日（2023年11月10日）公表いたしました「2024年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## （新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報について）

当社グループは日本・北米・中国・アジアにおいて生産及び販売活動を行っており、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が発生しております。今後新型コロナウイルス感染症の拡大が世界各地、又は当社グループが事業展開している地域で継続する場合には、以下のリスクの拡大が想定されるとともに、当社グループの業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

## ①生産継続に関するリスク

当社グループ従業員の感染や生産地域の感染状況により、従業員の自宅待機や消毒などに必要な期間が発生したり、材料等調達先や物流面の問題により生産継続が出来なくなる可能性があります。

## ②顧客の生産動向に関するリスク

当社グループが販売活動を行っている顧客及びその地域の感染状況により、当社の販売に大きな影響を及ぼす可能性があります。

## ③消費動向に関するリスク

当社グループ連結売上高の約60%を自動車分野、約39%を電子情報通信分野が占めております。新型コロナウイルス感染拡大及びそれに起因する景気後退等が、最終製品の消費動向を減退させ、当社グループの販売に大きな影響を及ぼす可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,707	7,181
受取手形、売掛金及び契約資産	10,941	11,652
商品及び製品	3,840	3,901
仕掛品	2,983	3,302
原材料及び貯蔵品	3,990	4,109
その他	1,986	1,441
流動資産合計	31,449	31,588
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,844	6,008
機械装置及び運搬具(純額)	10,840	11,144
その他(純額)	6,316	6,504
有形固定資産合計	23,001	23,658
無形固定資産	344	362
投資その他の資産		
投資有価証券	6,761	8,072
その他	2,179	2,230
投資その他の資産合計	8,940	10,302
固定資産合計	32,286	34,323
資産合計	63,735	65,912
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,103	6,795
短期借入金	7,952	9,724
1年内返済予定の長期借入金	526	368
未払法人税等	152	171
役員賞与引当金	—	23
賞与引当金	433	487
その他	5,156	4,987
流動負債合計	21,324	22,558
固定負債		
長期借入金	2,123	2,172
退職給付に係る負債	1,132	1,159
株式給付引当金	125	129
その他	990	877
固定負債合計	4,372	4,338
負債合計	25,696	26,897

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,833	2,833
利益剰余金	27,169	26,214
自己株式	△1,684	△1,666
株主資本合計	33,126	32,189
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,761	3,632
繰延ヘッジ損益	10	16
為替換算調整勘定	1,465	2,524
退職給付に係る調整累計額	656	634
その他の包括利益累計額合計	4,894	6,807
新株予約権	17	17
純資産合計	38,038	39,014
負債純資産合計	63,735	65,912

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	26,813	25,169
売上原価	23,625	23,799
売上総利益	3,188	1,369
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	357	322
報酬及び給料手当	684	752
役員賞与引当金繰入額	30	23
賞与引当金繰入額	89	88
退職給付費用	43	43
その他	1,512	1,545
販売費及び一般管理費合計	2,717	2,776
営業利益又は営業損失(△)	471	△1,406
営業外収益		
受取配当金	77	73
物品売却益	91	88
持分法による投資利益	2	49
為替差益	245	400
その他	46	82
営業外収益合計	464	693
営業外費用		
支払利息	52	113
その他	0	8
営業外費用合計	53	121
経常利益又は経常損失(△)	882	△834
特別利益		
投資有価証券売却益	—	7
受取保険金	—	115
リース解約益	22	0
その他	2	1
特別利益合計	25	124
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産廃棄損	10	22
支払補償費	—	119
その他	0	—
特別損失合計	10	141
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	897	△851
法人税、住民税及び事業税	236	295
法人税等調整額	88	△464
法人税等合計	325	△169
四半期純利益又は四半期純損失(△)	572	△681
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	572	△681

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	572	△681
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△431	870
繰延ヘッジ損益	△1	—
為替換算調整勘定	1,625	1,088
退職給付に係る調整額	△12	△21
持分法適用会社に対する持分相当額	18	△24
その他の包括利益合計	1,198	1,912
四半期包括利益	1,770	1,230
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,770	1,230
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	897	△851
減価償却費	1,963	2,028
引当金の増減額(△は減少)	117	81
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△1	25
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	28	△46
受取利息及び受取配当金	△83	△108
支払利息	52	113
持分法による投資損益(△は益)	△2	△49
固定資産廃棄損	10	22
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△7
売上債権の増減額(△は増加)	△907	△442
棚卸資産の増減額(△は増加)	△881	106
仕入債務の増減額(△は減少)	1,123	△463
その他	138	775
小計	2,453	1,184
利息及び配当金の受取額	83	108
利息の支払額	△55	△127
法人税等の支払額	△336	△298
法人税等の還付額	67	1
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>2,213</b>	<b>869</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△1,434	△2,537
固定資産の売却による収入	2	1
関係会社株式の取得による支出	△1,719	—
投資有価証券の売却による収入	—	15
貸付けによる支出	△25	△63
定期預金の純増減額(△は増加)	—	△33
その他	0	0
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△3,176</b>	<b>△2,617</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	443	1,485
リース債務の返済による支出	△106	△98
長期借入れによる収入	80	157
長期借入金の返済による支出	△354	△343
配当金の支払額	△333	△273
自己株式の処分による収入	0	4
自己株式の取得による支出	△0	△0
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△270</b>	<b>932</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	669	252
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△563	△563
現金及び現金同等物の期首残高	7,510	7,707
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,947	7,144

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の変更)

当第2四半期連結会計期間において、Suncall Europe Technology & Trading GmbHを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
顧客との契約から生じる収益	17,808	3,755	5,249	26,813	—	26,813
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	17,808	3,755	5,249	26,813	—	26,813
セグメント間の内部売上高又は 振替高	859	0	167	1,028	△1,028	—
計	18,668	3,756	5,416	27,841	△1,028	26,813
セグメント利益又は損失(△)	500	△233	674	940	△468	471

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△468百万円には、セグメント間取引消去△31百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△437百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の企画・管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	日本	北米	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
顧客との契約から生じる収益	15,892	4,221	5,054	25,169	—	25,169
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	15,892	4,221	5,054	25,169	—	25,169
セグメント間の内部売上高又は 振替高	654	—	178	832	△832	—
計	16,546	4,221	5,232	26,001	△832	25,169
セグメント利益又は損失(△)	△1,302	△275	604	△973	△433	△1,406

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△433百万円には、セグメント間取引消去△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△431百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の企画・管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 3. 海外売上高

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

	タイ	中国	フィリピン	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	4,383	2,696	5,132	5,483	17,695
II 連結売上高(百万円)					26,813
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	16.3	10.1	19.1	20.5	66.0

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

	タイ	中国	フィリピン	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	3,127	2,540	2,664	6,037	14,369
II 連結売上高(百万円)					25,169
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	12.4	10.1	10.6	24.0	57.1

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) タイ……………タイ

(2) 中国……………中国

(3) フィリピン……………フィリピン

(4) その他の地域……韓国、米国、ベトナム、インドネシア、マレーシア、インド、ブラジル、メキシコ、スイス、ポーランド

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。